

今年開催のはずでした東京オリンピックは、皆さんご承知の通り来年に延期されました。そんなこの夏ですが、改めて前回のオリンピックを振り返ってみましょう。前回は2016年、ブラジルのリオデジャネイロでの開催でした。そのオリンピックで世界中が最も注目したのは、ジャマイカのウサイン・ボルト選手だったのではないのでしょうか。史上初の3大会連覇をかけて臨んだボルト選手ですが、年齢もケガもプレッシャーもはねのけて、前人未踏の大記録を達成しました。

そのボルト選手ですが、オリンピックが始まる前にNHK「クローズアップ現代」のインタビューで、こう答えています。「数年前から、誰かに追いかける夢を見ます。どんなに早く走っても、逃げられないのです。捕まりはしませんが、逃げ切ることもできない、ひたすら走り続ける、そんな夢です。(なぜなのか)まったくわかりません。深く考えないようにしています。朝起きて、また同じ夢を見てしまったと思うのですが、誰にも相談できずにきました。」

世界一の男でさえも、走るということは苦しみの連続なのだということを、改めて思わされたことでした。私たちの人生もまた、プレッシャー、痛み、悩み、それらの連続でもあるような気がします。

「わたしは、戦いを立派に戦い抜き、決められた道を走りとおし、信仰を守り抜きました。今や、義の栄冠を受けるばかりです。」 テモテ第二の手紙 4章 7~8節

誰も想像することの出来なかったこの2020年を生きている私たち。人生とは本当に厳しく、長い道のりです。しかしそれを走り抜いた者には、神様は栄光の冠を与えると、そのように約束しています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2020年8月2日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2：15

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

